



エピソード

なわを2本繋げて大縄にして遊んでいました。(引っかかっても3回までチャレンジできるルールでした。) A児が「いっせーの一で！」と声を掛けるとB児となわを回してC児が跳ぶと2回目で引っかかりました。(B児は1周目は大きく回していましたが、2周目は肘が曲がり回しが小さくなっていました。)そこで保育者が「大きく回すんだよ」と腕を大きく回しながら言いました。次も2回目でC児は引っかかり「ちゃんと回してよ」と言い、A・B児は黙っていました。そこで保育者が「ちょっと回す練習してみたらどう」と提案し、練習することになりました。

A児の「いっせーの一で！」の掛け声で始めるとA・B児は肘を伸ばし大きく回して上手くなわが回りました。保育者が「うんうん、いいやん、その調子」と言い、C児も「うん、いい！」と言うと、B児は口元をゆるめ、練習を終えました。

保育者の思い

- ・友達と一緒に回す難しさや楽しさなど経験して欲しいなと思いました。
- ・大きく回すことに気付くきっかけになればいいなと思い、腕を伸ばして回す姿を見せました。
- ・跳んでいる子を気にせず、回すことに専念して、コツをつかめるといいなと思い、練習することを提案しました。

子どもの育ちや学び

保育者に大縄を回してもらう



自分でしたい！自分達でしょう！という意欲や主体性をもって遊べるようになっていきます。

自分達で決めたルールを友達と共有しながら遊んでいます。

友達に認められたことが自信につながっています。

友達との関係が深まり、より存在が大きくなっています。

家庭だったら・・・

- ・自分でしたい！自分でしよう！というやる気をもって取り組んでいる時には、「その調子！」といったようにモチベーションを更に引き出す声かけをしてみたいかがでしょうか。

反対に自信をなくしている時には、「自分のペースでいいよ」「休憩してみよう？」など心に寄り添う声かけをしてみたいいいかもしれませんね。

気持ちの切り替えができ、「もう一度頑張ってみよう！」とする気持ちに繋がっていくかもしれませんよ。